

エコフラット60

室内環境配慮形水性つや消し塗料

規格表示 特長

JIS K5663 合成樹脂エマルジョンペイント 2種

- ・水系、非危険物、1液形なので、臭気が少なく、ポットライフがない取り扱いやすい商品です。
- ・防火材料認定 (NM-8585・QM-9816・RM-9364)
- ・(社)日本塗料工業会が定める「健康リスクに対する室内用建築塗料の目標基準」に適合 (TVOC = 1%以下) する環境配慮形エマルジョン塗料です。
- ・超低VOCのため、塗装後のVOC放出量がほとんどなく、異臭成分(未反応モノマー)もゼロに近づけたため、非常に低臭です。

塗料性状

色	白色					
密度(g/cm ³)(23)	1.50					
光沢	つや消し					
引火点	-					
発火点	202 (参考値)					
消防法表示	化学名	-				
	危険物区分	-				
	危険物等級	-(-)				
有機溶剤区分	なし					
毒劇物表示	-					
有害物表示	-					
ホルムアルデヒド	登録(認証)番号	-				
	区分表示	F				
放散等級	-					
国連/指針番号	-					
環境性能	ホルムアルデヒド	配合せず	ホルムアルデヒド	配合せず	トルエン	配合せず
	キシレン	配合せず	パラキシレン	配合せず	イソキシレン	配合せず
	スチレン(モノマー)	配合せず	フルオロ酸ジ-n-ブチル	配合せず	テレフタ酸	配合せず
	フルオロ酸ジ-2-エチルヘキシル	配合せず	ダイアジン	配合せず	アセトアルデヒド	配合せず
	フェノール	配合せず	鉛	配合せず		
TVOC	配合せず					
防火材料等認定	NM-8585 塗料塗装/不燃材料, QM-9816 塗料塗装/準不燃材料, RM-9364 塗料塗装/難燃材料					

・塗料性状に記載の数値は、全て代表的な色相、つやを想定しています。

・本商品には当社工場にて製造もしくは調色したJIS表示品と、店頭にて調色していただく為のJIS非表示品があります。JIS表示が必要な場合はご注文時にその旨をご指示ください。JIS非表示品にて調色された場合、当社より保証書発行いたしません。ご必要の際、その旨ご指示ください。

調色適応

つや有り			7分つや有り			5分つや有り			3分つや有り			つや消し		
淡彩	中彩	濃彩	淡彩	中彩	濃彩	淡彩	中彩	濃彩	淡彩	中彩	濃彩	淡彩	中彩	濃彩
x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x			

・使用原色の種類、隠蔽性の関係上、目的の色相、つやに調整できない場合があります。

塗装基準

荷姿：
希釈剤：
塗装方法：

20kg
水道水

塗装方法	はけ、ウールローラー塗り	エアレススプレー塗り
希釈率	5~10%	5~15%
使用量	0.12~0.14kg/m ² /回	0.13~0.15kg/m ² /回

・上記の各数値は、標準的な数値です。被塗物の形状・素地の状態・気象条件・希釈率および測定機器・測定方法により増減します。

・上記の使用量は、記載の塗装方法で標準的に使用する量を記載しています。必要に応じ、所定の使用量・膜厚になるように使用量・塗り回数を調整してください。

・塗付け量は、0.10kg/m²/回です。

・使用量：被塗装面単位面積あたりの塗装材料(希釈する前)の使用質量

・塗付け量：被塗装面単位面積あたりの塗装材料(希釈する前)の付着質量

乾燥時間：

	5~10	23	30
指触乾燥	20分	10分	5分
塗り重ね乾燥	5時間以上	2時間以上	1時間以上

・乾燥時間は目安です。使用量、通風、湿度および素地の状態によって異なります。

特記事項

- ・絶えず結露が発生するような用途、場所での使用は避けてください。著しい結露が発生する場所では、塗料中の水溶成分が表面に溶出し、粘着物などとなって析出するおそれがあります。著しい結露が予測される場合は、塗装を避けるか、溶剤系塗料での塗装をおすすめ致します。
- ・塗装場所の気温が5℃未満、もしくは湿度85%以上である場合、または換気が十分でなく結露が考えられる場合、塗装は避けてください。

注意事項

- ・防藻・防かび効果は、繁殖を抑制するものです。すでに繁殖している場合は、下地処理として除去および殺菌処理をしてから塗装してください。
- ・塗装後、乾燥不十分な状態で降雨結露などがある場合や、低温、高湿度、通風のない場合には、膨れ、はく離、割れ、白化、シミが発生するおそれがありますので、塗装を避けてください。やむを得ず塗装する場合は、強制換気などで湿気を飛ばすようにしてください。シミが発生した場合は乾燥後水拭きして除去してください。
- ・色相によっては降雨、結露によってぬれ色になる場合がありますが、乾燥すると元に戻ります。
- ・乾燥後の塗膜に付いた汚れは、シンナーなどの溶剤では拭かず、せっけん水で洗浄してください。
- ・スプレーノズルの先端は、ときどき水洗いをしてください。作業効率の低下および塗りむらの原因になります。
- ・乾燥条件によっては塗膜表面に粘着を感じることがありますが、時間とともになくなります。
- ・動物はけは、はけが固まったりダマになりやすいので、できるだけナイロンはけをご使用ください。
- ・塗膜に割れが生じるおそれがあるため、軟らかい塗膜の上への塗装は避けてください。
- ・本品は必ず2回塗りをしてください。1回塗りとして2回塗りでは仕上がりが異なります。
- ・つや有り仕上げを塗り替える場合、種類によっては適性がない場合がありますので、試し塗りをしてから本施工してください。
- ・繊維壁、耐火被覆用けい酸カルシウム板、ロックウールなどの非常にぜい弱な素材には塗装できません。
- ・吸音板塗り替え用顔料分塗材（シールマット など）の塗り替えには使用できません。
- ・氷点下で貯蔵すると凍ります。凍らないように5℃以上で貯蔵、保管してください。
- ・旧塗膜に発生した藻・かびは、洗浄などで必ず除去し、清浄な面としてください。付着阻害をおこなっておく必要があります。
- ・風化面・吸込みの著しい下地では、ニッペ浸透性シーラー（新）、ニッペ液浸透シーラー、ニッペファイン浸透シーラーをご使用ください。
- ・やにが著しく付着している場合は、ウエスなどでやにを水拭きして除去し被塗装面を十分に乾燥させてから塗装してください。希釈を少なくし、1回目の塗装を十分乾燥（目安23℃、6時間）させてから2回目の塗装をすることでやに止め性が向上します。シミ、あく面は止まりにくい場合がありますので、ウエスなどで水拭きを行い、被塗装面を十分乾燥させてから塗装してください。
- ・下地にタバコのやに汚れが著しい場合は、下塗り材として水性シミ止めシーラーを塗装してください。
- ・塩化ビニールクロスののはがれ、めくれ、浮きなどは接着剤で貼り付け、ローラーで圧着したり、類似クロスで面合わせをするなどあらかじめ補修してください。またクロスの接着力が低下している場合、塗装することでクロスが浮き上がってくる場合がありますので、クロスの合わせ部などはあらかじめ接着剤などで押さえておくことが安心です。
- ・素地表面のアルカリ度はpH10以下、表面含水率は10%以下（ケット科学社製CH-2型で測定した場合）、または5%以下（ケット科学社製Hi500シリーズ：コンクリートレンジで測定した場合）の条件で塗装してください。
- ・内外壁の新設仕様の場合は、必ず下塗りにシーラーを塗装してください。
- ・素材にセメント成分などが使われている場合は、エフロレッセンスが発生するおそれがありますので溶剤系シーラーをご使用ください。
- ・塗装時および塗装後に密閉しますと乾燥が遅れますので、換気を十分に行ってください。
- ・塗装時および塗料の取り扱い時は、換気を十分に行い、火気厳禁にしてください。
- ・飛散防止のため必ず養生を行ってください。
- ・笠木、天端など長時間水が滞留する個所では塗膜の白化、膨れなどが発生する場合がありますので、養生シートの設置方法などに配慮し、換気を促してください。
- ・薄めすぎは隠ぺい力不足、仕上がりが不良などが起こるため規定範囲を超えて希釈しないでください。
- ・上塗りに冴えたイエロー、レッド、ブルー、グリーン系色相を使用する場合は、共色を下塗りしてから塗装してください。なお、特に冴えた色相では、共色を下塗りしても標準の使用量、塗装回数で隠ぺい出来ない場合があるため、事前に試験施工塗り板等でご確認下さい。
- ・調色には必ず当社専用の原色をお使いください。
- ・濃彩色や冴えた原色の場合、塗膜を強く擦ると色落ちすることがあります。衣類など接触する可能性のある部位には使用しないでください。なお、状況により常時接触するような個所に使用する場合は、ファインシリコンフレッシュクリヤーを上塗りに塗装してください。クリヤーのローラー及び

本書類の内容については、予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

本書類中の製品名・会社名は、日本ペイント株式会社、その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。

Copyright (c) 2014 Nippon Paint Co., Ltd. All rights reserved.

この書類に対する加筆、修正はご遠慮ください。